

船絵馬グループ 第2号

寿都町内の8つの神社を回ったところ、4つの神社に船絵馬がありました。それらの形態は、模型のように立体的なもの、風景画が描かれているものなど、様々なタイプの船絵馬がありました。また、共通して弁財船をモチーフにして描かれている絵馬が多いことがわかりました。

NO.1

資料番号A0001

船絵馬

奉納場所：
寿都神社

作成年代： 明治13年5月吉日

作成者： 角谷与七、廣海彦太郎、廣海喜平 (加賀国瀬越村) ※
奉納者 / 絵馬藤 (大阪黒金橋) ※絵馬製作者

寸法： 770×1,010 (外額を除く内寸)

船主が奉納した絵馬

朝日が描かれている



人(乗組員)が描かれている

本州の船主が奉納したということから、当時は本州から多くの北前船が往来していたことが分かります。



船の名前が書かれている



一部だけ紙を貼り合わせている箇所がある

NO.2

資料番号I0015

ガラス絵馬

奉納場所：
海神社

作成年代： 明治25年1月28日

作成者： 佐藤栄五郎 母 (磯谷郡横澗村)

寸法： 39.0×29.0

美しいガラス絵馬

ガラス絵とは…

透明で平板なガラス板の片面に絵具でし、その面の裏側から鑑賞する絵画。



人物3人は、写真を貼り付けているように見受けられる

細部まで繊細に描かれたガラス絵馬。この絵馬は状態が良く、木枠こそ朽ちているものの、絵はきれいに残っていました。



船の部分にだけ「螺鈿」が用いられており、光の加減で光って見える。

螺鈿(らでん)とは…

殻の部分を磨いて薄片にし、漆で貼りつけて装飾する工芸技法。